

和菓子司三吉野のSDGsへの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■ SDGs とは

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

■ 当店の想いとSDGs

和菓子司三吉野は、小田急電鉄・東急電鉄中央林間駅から徒歩ですぐに立地する和菓子店です。当社では、生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させるべく、食品ロスを削減するためのプラットフォーム作りを目標としています。

そのためには社員一人一人の行動変容と意識改革が必要であり、過剰な製造を行わないよう徹底するとともに、スタッフへの「食品ロス軽減」の啓発をしています。

地元大和市を中心に、神奈川県内から社員・アルバイトを積極的に採用しており、はたらく・住む人の「心が集う場」として、地域に愛される店を目指します。

■ 当店の SDGs への取り組み

(1) 社会貢献への取り組み



地元大和市を中心に、神奈川県内から社員・アルバイトを積極的に採用しており、はたらく・住む人の「心が集う場」として、地域に愛される店を目指します。

粒あん・こしあんは北海道の小豆農園「大雪山農園」様から、うるち米を使う「巻き寿司」「いなり」「おにぎり」は、新潟産こしひかりを使用など、トレーサビリティを重視した仕入れを実施しています。

(2) 地域経済・社会活性化への取り組み



フードロス対策として、過剰な在庫を抱えないよう、客の数や時間帯に応じた適切な量を製造しています。また、女性従業員が半分以上在籍しており、地元神奈川県や大和市から積極的に採用しており、働きやすい職場環境の構築を目指しています。

(3) 地球環境保全への取り組み



食材は国内市場のほか、地元の業者から仕入れる等、地産地消につとめています。また、食品ロスの軽減による廃棄物の発生抑制を行っています。